実行委員会が発足したこと（委員長・鎌田元一副会長、委員・輔老拓治氏〈兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所〉・加賀見省一氏〈日高町教育委員会〉・小寺誠氏〈出石町教育委員会〉・今津勝紀氏〈岡山大学〉・舘野和己委員・寺崎保広委員・吉川真司委員・渡辺晃宏委員）が報告され、日程や研究報告などの原案が了承された。(6)第二三回総会・研究集会の予定について意見が交換された。(7)その他、京奈和道問題の現況、二〇周年記念出版事業の編集経過と会員名簿の作成、奈文研の独立行政法人化に伴なう学会運営の在り方と会誌編集体制の見直しについて、報告及び議論が行なわれた。

◇二〇〇一年一〇月三一日（水）（一四時～一六時三〇分）

於奈良文化財研究所

(1)会務について。会員の異動及び、常任委員会・幹事会の開催状況が報告された。(2)入会希望者四名の審査が行なわれ、全員の入会が承認された。(3)会計について。二〇〇一年度の会計中間報告及び二〇〇二年度予算原案の報告があり審議を行なった。(4)会誌第二三号の編集状況が報告された。(5)第二三回総会・研究集会について日程・内容などを決定した。(6)但馬特別研究集会について。現地の運営委員会（委員長・大村敬通氏〈兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所〉）が組織され、準備を行なっている旨報告があった。(7)二〇周年記念出版事業の進行状況について報告がなされた。(8)「世界遺産平城宮跡を考える」シンポジウムについて、木簡学会も主催・幹事団体として参加することが報告され、了承された（同シンポジウムの内容については二三八頁会告参照）。(9)その他、古代の銅生産シンポジウム in 長登が去る九月に開催され、木簡学会として後援したことが報告された。

（山本　崇）

木簡学会役員（二〇〇一・〇二年度）

会　長	佐藤　宗諄			
副会長	鎌田　元一	田辺　征夫		
委　員	今泉　隆雄	岩本　正二	佐藤　信	
	清水　みき	舘野　和己	寺崎　保広	
	土橋　誠	西山　良平	平川　南	
	本郷　真紹	籾山　明	山下信一郎	
	山中　敏史	吉川　真司	和田　萃	
	渡辺　晃宏			
監　事	石上　英一	東野　治之		
幹　事	市　大樹	岩宮　隆司	鷺森　浩幸	
	鈴木　景二	竹内　亮	鶴見　泰寿	
	西村さとみ	馬場　基	古尾谷知浩	
	増渕　徹	山本　崇	横内　裕人	
	吉江　崇	吉川　聡		